



東 俣 野 3月

東俣野小学校 学校だより

平成28年3月1日

「みんなでそろえる」「ていねいに行う」

校長 村田 幹男

昨年度から、養護教諭の大塚先生の発案で何度か「靴箱美人キャンペーン」を行っています。

「靴箱にきれいに靴を入れよう」という取組です。ただ「きれいに入れなさい。」というのではなく、初めに入れ方を教えました

- ① 靴のかかと部分を持って、靴箱に入れる。
- ② 手のひらで、かかと部分を靴箱に押し込んでいく。
- ③ 手のひらが靴箱の棧（枠の部分）にぶつかったら、手を離す。

このやり方で、いつでもだれでも、その位置でそろいます。1年生でもできます。



靴の入れ方がそんなに大事？と思われるかもしれませんが、みんなが実践すると、見事に靴がそろい、「きれい！」となります。指導したいポイントは、単に靴の入れ方だけでなく、「みんなでそろえる」「ていねいに行う」です。

この実践はキャンペーンの時には、さすがに意識が高く、どのクラスもほぼきれいに入っており、順位など決められない状態です。ところがキャンペーン期間を過ぎると、少し乱れてくるのが実情です。簡単にできることなので定着させたいです。また、ロッカーへの荷物の入れ方が整っている、机がきちんとそろっているなど、他の場面でも整理整頓への意識がさらに広がっていくとよいです。これも教師側の「しかけ」が必要でしょう。

「みんなでそろえる」「ていねいに行う」という点で、ここ数年よくなってきたことは「朝会、集会など、全体で集まったときの話の聞き方」です。できて当たり前のように思えるかもしれませんが、大勢で集まっても緊張感がなく、本校では課題がありました。しかし今は、一人ひとりが雰囲気を感じ察知して臨めるようになってきています。教職員みんなで意識して指導支援してきましたし、高学年が手本となり低学年にも浸透していったということも大きいと思います。これも続けていきたいです。

「みんなでそろえてていねいに行う」ことが常態化してくると、子どもも「秩序感」「安心感」が高まっていくのではないかと思います。反対に「いい加減」は荒れの要因とも思われます。来年度も何かしら視点を定めて、全体で取り組んでいきます。

いよいよ3月、今の学年最後の月を迎えます。今年度は、創立30周年をみんなで祝いしたことも、パラリンピックメダリストの大日方さんが来校してくださったことも、思い出に残ったことでしょう。子どもたちが充実感・達成感をもって学年の締めくくりができるように、支援をしていくつもりです。

今年度も保護者・地域の皆様にはたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。